

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記項目につきまして検査内容を変更させていただきますので、取り急ぎご案内する次第です。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

■対象項目/変更内容

頁	項目コード	検査項目名	変更内容	新	旧
75	6401	EB ウイルス核酸定量	検査項目名	EB ウイルス DNA 定量	EB ウイルス核酸定量
			検 体 量	血液(EDTA-2Na加) 2.0mL または 血漿 2.0mL	血液(EDTA-2Na加) 2.0mL または 血清 0.8mL または 血漿 0.8mL または 髄液 0.8mL
			保 存 (安定性)	冷蔵(28日)	血液:冷蔵(14日) 血清:凍結 血漿:凍結 髄液:凍結
			基 準 値 (単 位)	検出せず (Log IU/mL)	検出せず (コピー/mL)

※その他の検査要項に変更はございません。検査要項の詳細は裏面をご参照ください。

■変更期日

●2021年3月31日(水)受付日分より

EB ウイルス DNA 定量

WHO International Standardで標準化された体外診断用医薬品を用いた検査です。

Epstein-Barr (EB) ウイルスは、成人の90%以上が感染しているウイルスであり、生涯にわたり潜伏感染を続けることが知られています。既感染者はEBウイルス関連抗体が陽性になることや、白血球細胞への潜伏感染から健常人の検体でDNA検査が陽性になることがあるため、抗体検査やDNA定性検査だけでは不十分であり、EBウイルス感染症の診断にはリアルタイムPCR法の定量検査による、EBウイルス感染症のモニタリングと迅速な診断が望まれています。

本項目は、1st WHO International Standardで標準化された体外診断用医薬品を用いて、血液および血漿中のEBウイルスDNAをリアルタイム法でDNA定量し報告いたします。

▼疾患との関連

EB ウイルス感染症
免疫抑制状態や臓器移植患者における日和見感染症

▼関連する主な検査項目

EB ウイルス DNA(クロナリティ)

■検査要項

項目コード	6401	
検査項目名	EBウイルスDNA 定量	
検体量	血液(EDTA-2Na加) 2.0mL	血漿 2.0mL
容器	容器形態:PN5	容器形態:PN5 → 容器形態:r
保存方法(安定性)	冷蔵保存してください (28日)	
所要日数	3~6日	
検査実施料	310点 (「D023」微生物核酸同定・定量検査「8」EBウイルス核酸定量)	
判断料	150点(微生物学的検査判断料)	
検査方法	PCR(リアルタイムPCR)	
基準値(単位)	検出せず (Log IU/mL)	
備考	重 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。	
検査委託先	株式会社エスアールエル (→5)	

■参考文献

Kimura H, et al: J Clin Microbiol 37(1):132~136, 1999. (検査方法参考文献)
日本造血細胞移植学会:造血細胞移植ガイドライン EBウイルス関連リンパ増殖症 2018年2月
日本小児感染症学会:慢性活動性EBウイルス感染症とその類縁疾患の診療ガイドライン 2016
(臨床的意義参考文献)